



利根中央病院だより

第66号
2023年 新年号

きらめき



発行責任者 利根中央病院 病院長
編集責任者 利根中央病院 事務長
〒378-0012 群馬県沼田市沼須町910-1
TEL：0278-22-4321（代表）
FAX：0278-22-4393
URL：https://www.tonehoken.or.jp/

新年のご挨拶

病院長 ^{せきはら まさお} 関原 正夫



新年あけましておめでとうございます。皆様とともに、新しい年を迎えることができましたことをお慶び申し上げます。

昨年も新型コロナウイルス感染症が猛威を振るった年であり、いまだ終息の兆しが見えません。また、季節性インフルエンザウイルスの同時感染も危惧されています。

今年は「癸・卯」年です。卯は飛び跳ね、飛躍が想像される動物です。癸は大地を潤す恵みの水を表し、新た

な生命の成長という意味があるそうです。新型コロナウイルス感染症を乗り越えていけるよう、地域の皆様・医師会の皆様・行政の皆様と協力しながら、感染対策に最大限の配慮を行いつつ日常診療を邁進し地域の健康を守ることが当院の使命です。どうぞ、よろしく願いいたします。

卯年の年男・年女からごあいさつ

診療技術部長 ^{はらだ たかし} 原田 孝



暦の一周はなんと早いことでしょう。おかげさまで5回目の年男です。お世話になっている皆様に心から感謝します。体力と記憶力の低下分は経験値でカバーして、まだまだがんばりたいと思います。今年もよろしく願いいたします。笑顔溢れる1年になりますように。

臨床工学室 ^{はやし たかゆき} 林 貴幸



明けましておめでとうございます。コロナ禍が収束することを祈り、仕事もプライベートも新しいことに挑戦したいと思います。まずは体調管理を万全に、慌てず、焦らず着実に進むウサギを目指していきます。

本年もよろしく願いします。

6 B病棟 ^{かの まお} 鹿野 麻央



毎年、兎走鳥飛に過ぎていきます。昨年は当たり前にある日常が、そうではなかったのだと実感する年になりました。

当たり前にいる人や環境を大切に、感謝をしながら1日1日を過ごしていきたいです。今年もよろしく願いいたします。

4 A病棟 ^{かたやま かほ} 片山 夏穂



新年明けましておめでとうございます。昨年は国試や入職など大変なことが多かったですが、先輩方のご指導や同期に支えられて乗り越えることができました。4Aの皆さんにご迷惑をかけた分、今年は脱兎のように仕事をこなし、少しでもお返しできるようにがんばります！

利根中央病院整形外科手外科について



利根中央病院整形外科 副科長 ほそかわ たかふみ
細川 高史

当院は県北部唯一の日本手外科学会認定研修施設であり、私自身も県北唯一の手外科専門医・指導医として診療に当たっています。特に夜間休日は利根沼田地域を初め、吾妻地域、渋川地域からの救急患者も可能な限り受け入れ、手の外傷、緊急手術（挫滅、開放骨折、切断）に対応しています。

また新たな知見を得て日々の診療に活かすべく学術活動にも力を入れ、近年は国内外の学会発表、論文投稿を継続しておこなっております。今年度は9月にアメリカ手外科学会口演、11月には日本手外

科学会トラベリングフェローに選出いただき韓国手外科学会に参加して来ました。

今後ともより多くの手に関する診療を行いたいと思っておりますので、手の愁訴を抱える患者さんがいましたら、当院整形外科にご紹介ください。外来は完全予約制となっております。患者様にお電話で予約を取っていただきますが、お急ぎの際は直接お電話もしくは紹介状をお持ちいただき受診いただければ幸いです。よろしくお願いたします。



左：整形外科 須藤科長



アメリカ手外科学会 ボストン



韓国手外科学会 ソウル



2022 院内災害訓練

災害対策委員会委員長（副院長）

かわうち ひでゆき
河内 英行



当院では10月22日に2022年度院内災害訓練を実施しました。2021年2月に改訂された沼田市ハザードマップにより、100年に一度発生する可能性がある大雨災害による浸水地域に当院が指定され、大雨災害時の病院避難という全く経験したことのない訓練となりました。病院避難は当院だけで完結できるものではなく、沼田市をはじめとする各種行政機関や、利根沼田地域の医療機関の皆様にご協力いただき、当院入院中患者様全員の避難を想定した訓練となりました。

今回の訓練は、『病院避難を決定するまでの流れを各種機関と共有する』、『患者様避難における地域医療機関との連携を共有する』、『患者様避難の院内での流れを確認する』の3点を主な目的としました。

本来は、模擬患者の実搬送も含めた訓練を実施す

る予定でしたが、コロナ禍が継続しているため、参加者を限定し机上訓練としました。

今までの訓練想定は、地域が地震被害に遭い、当院に被災者を受け入れることに重点を置いたものでしたが、今回は、当院が浸水被害を受ける想定訓練であることから、一から手探りの状態で訓練を進めていきました。

しかし、各種行政機関だけでなく、利根沼田地域の医療機関の皆様にご協力いただいたことにより、実災害時の想定が可能になり、臨場感が増し、課題（搬送手段の確保等）も多く見つけることができました。

来年の訓練では、今年発見できた課題の対応策を実践する形で、実災害時によりスムーズな対応ができるように各種行政機関と地域医療機関の皆様と実施していく予定です。



季節の特色を活かし工夫した行事食

栄養管理室室長 ^{はやし} 林 ^{かずよ} 和代

栄養管理室では、入院患者様の楽しみの一つになればと、毎月1回以上は季節感を感じられる食事を提供しています。その月の特色を献立に取り入れたり、カードを添えたりして、見て・食べて・喜んでもらえるよう工夫しています。

元日の昼食には、重箱風のお弁当箱に詰めたおせち料理を提供し、年末年始を病院で過ごす患者様の癒しとなっています。

1月 お正月

・カレイの西京本漬け・寿厚焼き玉子・有頭海老・梅麩・さといも・栗きんとん・菜の花・ねじり梅・



元日の昼食

黒花豆・紅白なます・花れんこん。

患者様からの声：「病院でおせちが食べられるなんて！感動しました。ごちそうさまでした」。

8月 土用の丑の日

・冷やしうどん・かぼちゃと枝豆のかき揚げ・うなぎときゅうりの和え物・すいかのロールケーキ。

患者様からの声：「少しだけどうなぎが出てうれしかった」「すいかのロールケーキは珍しくておいしかった」。



8月 土用の丑の日 昼食

第2回 子育て応援企画

「子育てを楽にする魔法」開催

生協本部 生協くらしサポートセンター ^{てづか} 手塚 ^{ただひこ} 匡彦

3人の小児科医師と看護部から5人の協力を受けて、12月10日（土）の午後に、病院研修室で7組の親子が参加して開催しました。西村Drからは「子どもの救急について」、八木Drからは、「コロナの小児の特徴と対応」について講演があり、その後、グループワークを行いました。

グループワークでは、車座になり、ざっくばらんにやりとり。悩みごとや困りごとなどで、医師や先輩パパママでもある看護師、生協組合員たちからの確かなアドバイスもあり、参加者と交流も深めました。



参加者からは「受診の目安などがわかり、大変ためになった」「小グループでは楽しく話せたし、話しやすかったです」「ほかの人の話を聞くことで参考にになりました」「自分が経験したことがないことも聞けてよかったです」などの感想が出されていました。